

米国UL寄付講座 明治大学安全学研究所共催

安全学入門

明治大学リバティアカデミー ビジネスプログラム

ULからのご挨拶

Underwriters Laboratories IncことULは、安全に関する業務で世界中に知られている米国法人で、1894年に設立されて以来、もう100年以上も世界をより安全な場所にすることに注力してきました。ULの組織としてのミッションは、「安全科学と危険に基づく安全工学を適用することにより、安全な生活・職場環境を推進する」であり、このミッションの達成を目指して、製品安全規格の開発、安全試験の実施、製品の安全認証などの業務を提供しています。公共安全に注力する米国の組織で、同国に製品を輸出される日本企業、特に電気・電子機器の製造業者の皆様にも広く知られています。また、子どもを含む一般市民を対象にした安全に関する啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

日本においては、米国に製品を輸出される日本企業、特に、電気・電子機器の製造業者の皆様より広くご愛顧をいただいております。UL JapanはULの100%子会社で、伊勢、東京、横浜に主要事業所を設け、主に製品安全試験・認証、EMC測定などのサービスを通じて、日本のお客様が米国・日本のみならず世界中の市場に製品を出荷されるお手伝いを対応した製品安全試験・認証、EMC測定などのサービスを主に提供しております。詳細は、www.ul.com/jpをご覧ください。

1894年にシカゴに設立されたULは、すでに100年以上に亘り、社会のために安全を守る努力を続けています。ULのミッションは、「安全科学と危険に基づく安全工学 (safety science and hazard based safety engineering) を適用することにより、人々の安全な生活・職場環境を推進する」となっており、このミッション達成を目指して、主に製品安全規格の開発、製品安全試験、適合認証書の発行などの業務を提供しております。また、児童を含む一般市民を対象に安全に関する啓蒙啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

この度、明治大学殿のご支持を得て、公共安全の推進という弊社のミッションを体現する安全学の講座に再び協力させていただくことになり、誠に光栄に存じます。この講座がより安全な社会の構築に役立つことを切に祈っております。

敬具

オーガスト W シェーファー
上級副社長兼公共安全担当役員



MEIJI
UNIVERSITY

B
u
s
i
n
e
s
s
p
r
o
g
r
a
m
MEIJI UNIV. Liberty Academy

セミナーの
目的

安全・安心な社会の実現のためには、ものづくり技術として安全を実現するだけでなく、社会科学や人文科学も包含して、広く、統一的、包括的、領域横断的に考察する必要があります。このような新しい学問が安全学です。本講座では、安全とは何かなどの理念的な面、誤使用などの人間的な面、消費者の生活や原子力エネルギーの社会的な面など、安全学の立場から、安全の在り方について広く統一的に考えます。

(注)本講座は、理工学研究科新領域創造専攻の科目である安全学特論1を一般に公開するものです。

※受講料には書籍代も含まれています。

受講をお薦めする方

安全に興味を持つ一般の方々から、安全を学習する学生・大学院生、および企業および公官庁の安全関係者(安全管理者、製品設計者、法規・規格担当者、安全評価関係者、経営者、等)まで、広く受講されることを期待しています。

講座概要

コーディネータ	向殿 政男 明治大学理工学部情報科学科教授
会場	駿河台キャンパス リバティタワー教室
曜日	土曜日
時間	13:00~16:10
定員	50名
回数	16回(8日間)
受講料	10,000円(一般) 9,000円(法人*)
教材	①「安全学入門~安全の確立から安心へ~」 (研成社)(講座初回にお渡しします) ②オリジナルレジュメ
ポイント	★★★

*法人会員料金は、「リバティアカデミー法人会員」にご入会いただいている企業の方の料金です。

Greetings from Underwriters Laboratories Inc;

Underwriters Laboratories Inc. or "UL", is a US headquartered company that is focused on product safety. is known around the world for its work on safety. UL was established in Chicago in 1894 and has been working for a safer world for more than 100 years. Its corporate mission is "to promote safe living and working environments for people, through the application of safety science and hazard based safety engineering", and to achieve it UL develops product safety standards, conducts safety testing and certifies products for safety. Recognizing the growing concern in the world about our environment, UL now also offers environmental certification services. The company also endeavors to educate the general public, including young children, about safety.

It is well known to UL works with many Japanese companies who export their products to the USA, especially manufacturers of electrical and electronic devices. UL Japan, with offices in Ise, Tokyo, and Yokohama and Ise, is a wholly owned subsidiary of UL offering services of that offers product safety testing and certification, EMC measurement and others to address services to help manufacturers access global markets, including the USA and Japan. You can learn more about UL by visiting www.ul.com.

UL was established in Chicago in 1894 and has been putting efforts into securing safety for the sake of the society working for a safer world for more than 100 years. Its corporate mission is "to promote safe living and working environments for people, through the application of safety science and hazard based safety engineering", and to achieve it, UL covers development of UL develops product safety standards, conducts safety testing and issuance of certifications for conformity among others certifies products for safety. On top of them, itUL also endeavors to educate the general public, including young children, for about safety.

With the support from Meiji University, Underwriters Laboratories Family is again honored to donate to Safety Research classes consistent with its corporate mission of promoting public safety and wishes that the class contributes to building a safer society.

Best regards,



August W. Schaefer
Sr. Vice President & Public Safety Officer

コーディネータ・講師紹介 ◆◆◆◆◆



むかいどの まさお 明治大学理工学部情報科学科教授
向殿 政男 (兼) 理工学研究科新領域創造専攻安全学系

明治大学大学院工学研究科博士課程修了。専門は、ファジィ理論、人工知能、安全学。工学博士。元日本ファジィ学会会長、日本信頼性学会会長。現在、安全技術応用研究会会長、日本学術会議連携会員、経済産業省消費経済審議会製品安全部会長、私立大学情報教育協会会長。



ますだ まさひろ 増田 優 お茶の水女子大学教授

京都大学理学部卒業、通商産業省化学品安全課、工業技術院技術審議官、経済産業省製造産業局次長等を歴任、東京農工大学教授・副学長を経てお茶の水女子大学教授。化学生物総合管理学会会長、社会技術革新学会会長、知の市場会長。学術博士。



こまつばら あきのり 早稲田大学理工学術院創造理工学部
小松原 明哲 経営システム工学科教授

早稲田大学理工学部工業経営学科卒業。博士(工学)。金沢工業大学教授を経て現職。専門は人間生活工学。著書に、「ヒューマンエラー」(丸善)、「エンジニアのための人間工学」(日本出版サービス)、「ワークショップ人間生活工学」(丸善)などがある。



すぎもと のぶる 明治大学理工学部機械工学科教授
杉本 旭 (兼) 理工学研究科新領域創造専攻安全学系

早稲田大学大学院修士、労働省産業安全研究所機械研究部主任研究官、工学院院非常勤講師、北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科教授、長岡技術科学大学システム安全系教授を経て、現職。NPO安全工学研究所理事長を併任。長らく、自動化技術、ロボット技術に伴う安全についてのプラスとマイナスの両面からの研究に従事。工学博士。

この講座のお申込は、「電話」「FAX」「メール」での受付となります。ホームページからの「オンライン申込」はご利用いただけませんのでご了承ください。

TEL 03-3296-4423 FAX 03-3296-4542 E-mail academy@mics.meiji.ac.jp

日程		内容	講師
1	4/23 (土)	安全学のすすめ 安全とは何か、リスクとは何か等の安全の哲学な面の紹介と共に、安全学という新しい安全に関する学問の全体像を紹介する。	向殿
2			
3	5/14 (土)	個人から安全を考える 製品の「誤使用」や、「使いやすい」製品設計等の安全に関連したヒューマンファクターについて詳しく紹介をする。	小松原
4			
5	5/28 (土)	世界の中の安全学 グローバル化した現代で、我が国だけで安全を考えることはもはや出来ない。世界の中の安全学として、世界的な観点からの安全の在り方についての現状と将来について考察する。	増田
6			
7	6/11 (土)	社会制度として安全を創る 安全の規則や安全の社会制度の在り方を考えることを通して、安全と責任の関係について考察する。	杉本
8			
9	6/25 (土)	地域における安全を考える 身近な地域における災害と犯罪の事前予防に焦点を当て、まちづくりを通じた安全と安心の確保について考察する。	山本
10			
11	7/ 9 (土)	原子力の安全 原子力の安全確保の考え方と実例また事故の例を紹介し、原子力発電と核燃料サイクルのしくみおよび放射線の基本的な知識を分かりやすく概説しながら、原子力の安全とその社会的受容性について考える。	森
12			
13	7/23 (土)	ものと環境としての安全 材料や物質を通して環境の安全を考えると共に、リサイクルを通して安全を創ることを考える。	菊池
14			
15	8/ 6 (土)	暮らしから安全を考える リスクコミュニケーションの基礎について紹介すると共に、安全におけるリスクコミュニケーションの重要性と、リスクコミュニケーションの実践等についても考察する。	北野
16			

(懇親会) なお、最終日の8月6日には、授業終了後、講師と履修者全員参加で懇親会を開催し、フリーディスカッションを行う予定です。



やまuchi としや
山本 俊哉 明治大学理工学部建築学科教授
(兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系
1959年千葉県に生まれ、1983年千葉大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻を修了。建築・都市計画コンサルタントの(株)マヌ都市建築研究所主席研究員を経て、2004年4月より現職。博士(学術)。専門は、都市計画、まちづくり、防災、防犯。著書に「防犯まちづくり」(単著、ぎょうせい)、「大地震に備える」(丸善)。



きくち たかし
菊池 雅史 明治大学理工学部建築学科教授
(兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系
明治大学工学研究科修了。1974年から建設廃棄物、工業副産物の再資源化に関する実験的研究に着手し、その後、建築材料の環境影響評価システム、目的指向型材料設計システム、解体設計システム等の構築。国土交通省や神奈川県等のグリーン調達関連委員会・建築材料のJISの改正等の委員長を歴任。また、環境保全・資源循環に関する技術開発を民間企業・自治体等の委託を受けて実施している。



そね たかのり
森 治嗣 東京電力(株)技術開発研究所部長(兼)主席研究員
東京工業大学非常勤講師
明治大学客員教授(予定)
東北大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。米国MIT原子力工学科客員研究員を経て、東京電力(株)技術開発研究所入社。日本機械学会理事、日本伝熱学会理事、日本原子力学会理事を歴任。現可視化情報学会理事。1998、2002年日本原子力学会賞技術賞受賞、2005年日本機械学会賞(技術)、2009年日本原子力学会熱流動部会業績賞受賞。専門は原子炉工学、原子力システム及び安全工学、熱流体工学。



きたの だيسけ
北野 大 明治大学理工学部応用化学科教授
(兼)理工学研究科新領域創造専攻安全学系
1942年東京都に生まれ、1965年明治大学工学部工業化学科卒業、1972年東京都立大学大学院工学研究科博士課程修了(工学博士)。(財)化学物質評価研究機構企画管理部長、淑徳大学教授を経て、2006年4月より現職。経済産業省化学物質審議会委員及び産業構造審議会委員、環境省中央環境審議会委員。専門は、環境化学、リスクコミュニケーション。2004年度日本分析化学会技術功績賞受賞、2006年度環境科学会学会賞受賞。

